

研究課題名	聴覚情報処理障害臨床の実態把握に関する研究
研究の意義・目的	聴覚情報処理障害(Auditory Processing Disorder：以下 APD)とは、純音聴力検査では異常がなく音が「聞こえている」はずなのに、会話や指示、テレビや電話の声に対して「聞き取れない」、「聞き間違いが多い」など理解に困難が生じることがある障害であるとされています。国外の研究は進んでいますが、国内ではまだ実態が不明であるため、当研究を行うことになりました。この研究の目的は2つあります。一つは、APD の診断を行なっている、あるいは APD 患者と関連がある複数の施設から、臨床データを収集・解析し、現状曖昧であり統一されていない APD の診断基準を確立すること。もう一つは、臨床で得られる患者様の多様な悩みや要望を吸い上げ、患者の皆様に寄り添う支援方法を考案することです。本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 西暦2031年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	過去または研究期間内に聴覚情報処理障害(以下 APD)の疑いで下記の研究機関で、聴覚情報処理障害(以下 APD)の疑いで受診された方が対象となります。 大阪公立大学大学院医学研究科 聴覚言語情報機能病態学寄附講座 国立大学法人東北大学 医工学研究科/医学系研究科 社会福祉法人恩賜財団 済生会支部東京都済生会 東京都済生会中央病院 耳鼻咽喉科 国立大学法人九州大学 大学院医学研究院耳鼻咽喉科学分野 学校法人国際医療福祉大学 成田保健医療学部 言語聴覚学科 国立大学法人筑波大学 人間系 学校法人埼玉医科大学 埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科 独立行政法人国立病院機構東京医療センター 臨床研究センター 国立大学法人岡山大学 聴覚支援センター 学校法人藍野大学 医療保健学部看護学科
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等： ①患者基本情報：年齢、性別、診断名、既往症、合併症 ②聴覚障害や他の障害との鑑別に必要な検査：聴力検査、語音聴力検査、脳波検査(ABR,ASSR) ③聴取負荷のかかる状況下での聴取能力：問診、聞き取り困難に関する質問紙、聴覚情報処理に関する検査(小渕らの APT、八田らの AP-Test) ④発達障害傾向の把握：問診の発達歴、発達障害のスクリーニング質問紙(PARS,CAARS,ADHD-RS,AQ)、評価時の行動特徴の抽出 ⑤認知能力を掘り下げて分析するための評価：問診による日常生活での問題の抽出、知能検査(WISC-R,III,IV,WAIS-R,III,IV,K-ABCII,TMT,WMS-R,CAT)、言語能力検査(PVT-R,標準抽象語理解力検査,LC スケール,LCSA スケール,STRAW-R,J.COSS,標準構音検査,質問応答検査)、視覚における認知検査(注意、記銘)(フロスティック視知覚検査,Ray の複雑図形検査) ⑥精神・心理的状況の把握：問診、人格検査による評価(SDS,STAI,EQS,LSAS-J,ピッツバーグ睡眠質問票) なお、施設や患者によって必要とされる検査項目や診療は異なるので、上の項目以外にも検査などを行っていた場合はその診療情報も使用させてください。
試料・情報の他機関への	この研究は大阪公立大学大学院医学研究科 聴覚言語情報機能病態学寄附講座へ頂いた情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。また、情報は特定の個人を識別

提供	できない形で共同研究先に提供する可能性があります。
この研究を行っている共同研究機関	<p>大阪公立大学大学院医学研究科 聴覚言語情報機能病態学寄附講座 阪本浩一</p> <p>社会福祉法人恩賜財団 済生会支部東京都済生会 東京都済生会中央病院 耳鼻咽喉科 岡本康秀</p> <p>国立大学法人九州大学 大学院医学研究院耳鼻咽喉科学分野 中川尚志</p> <p>国立大学法人筑波大学 人間系 小淵千絵</p> <p>学校法人埼玉医科大学 埼玉医科大学病院 耳鼻咽喉科 坂本圭</p> <p>独立行政法人国立病院機構東京医療センター 臨床研究センター 加我君孝</p> <p>国立大学法人岡山大学 聴覚支援センター 片岡祐子</p> <p>学校法人藍野大学 医療保健学部看護学科 若宮英司</p> <p>国立大学法人大阪大学 大学院基礎工学研究科 清野健</p>
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 聴覚言語情報機能病態学寄附講座 研究代表者：阪本浩一
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>担当者：阪本浩一 特任教授</p> <p>所属：大阪公立大学大学院医学研究科 聴覚言語情報機能病態学寄附講座</p> <p>住所：〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3</p> <p>電話番号：06-6645-3871</p> <p>メールアドレス：gr-med-chokakugengo@omu.ac.jp</p>